

上下水道分野

Water Supply & Sewage Dept.



パシフィックコンサルタンツ株式会社
PACIFIC CONSULTANTS CO.,LTD.

〒101-8462 東京都千代田区神田錦町三丁目22番地
地域本社・支社：首都圏、北海道、東北、北陸、中部、大阪、中国、四国、九州、沖縄
海外拠点：シンガポール支店、ジャカルタ支店、マニラ支店

※表紙写真は愛知県発注業務における監督支援業務の一例であり、発注者の承諾を得て掲載しています。



上下水道を超える領域へ

パシフィックコンサルタンツの強みは、国土基盤や交通基盤、都市開発、環境・エネルギー、上下水道、公民連携、デジタルサービスまで含めて、社会課題を総合的に捉え、解決策を提案できる「総合力」です。渋谷や新宿などの大規模複合プロジェクトをはじめ、空港、防衛施設などの大規模インフラに関わってきた背景には、上下水道の専門性を軸に、多面的な視点で全体を捉え課題を解く力があります。たとえば、渋谷駅周辺の地下に約4,000立方メートルの雨水貯留施設をつくったプロジェクトでは、既存の構造物や交通、施工・維持管理上の制約など都市の複雑な条件を読み解く力が求められました。水理学、衛生工学、構造力学、環境工学、建築工学、機械工学、電気工学など、さまざまな分野の技術者が互いに深く関わりながら、課題解決に挑み続けています。

一方、官民連携の業務では、行政のアドバイザーとして自治体が抱える課題を整理し、民間企業の特長な技術や提案力をどれだけ引き出せるかが腕の見せどころになります。単に設計図を描くのではなく、事業の仕組みや評価基準まで考え抜く。コンサルタントでありながら、事業マネジメントに近い領域まで関われる面白さがあります。

技術者として、人々の暮らしを守り抜く

平常時は目立たない上下水道ですが、ひとたび災害や事故が起こると、その重要性が一気に注目されます。私たちには、社会インフラを支える技術者として、必要なときにいち早く動く責任があります。ゼロからものをつくるのではなく、既存のインフラを活用しながら、よりよい未来を構築していく。そうした複雑な仕事の中で、調整力、思考力、発想力が磨かれていく。技術者としての器を大きく広げていける環境がここにあります。人々の暮らしを守り、都市を災害から守り、環境を守り、未来を支えていきたい。そんな大きな意識を持つ方をお待ちしています。

未来の流れを変えていく

上下水道分野が挑むもの

上下水道分野の仕事の魅力は、人の暮らしに直結するインフラをこの手で支えているという実感にあります。いま、日本の上下水道事業は、老朽化、耐震化、浸水対策という大きな課題を抱えています。高度経済成長期などに整備された施設や管路の多くは老朽化が進み、漏水・破損事故のリスクに直面しています。また、大きな地震が起こるたびに、水を届け、使った水を流すシステムをどう守るかという難しさが明らかになってきました。さらに、毎年のように起こる都市型浸水への対策も急務となっています。人の暮らしに欠かせない水の課題に「できない」という選択肢はありません。社会の期待に応え続けるために、私たちの挑戦はこれからも続きます。



パシフィックコンサルタンツ株式会社
国土基盤事業本部 上下水道部長

八馬 正幸 はちうま まさゆき

2003年入社
入社以降、一貫して上下水道部に所属し2025年より現職。
主に下水処理場等ハコモノ施設の計画・設計業務に従事し、
近年は、老朽化対策に関わる大規模再構築事業を手掛ける。
汚泥燃料化施設やメタン発酵施設等、
脱炭素施設整備に関わるPPP事業も数多く担当。
技術士(総合技術監理部門、上下水道部門)。

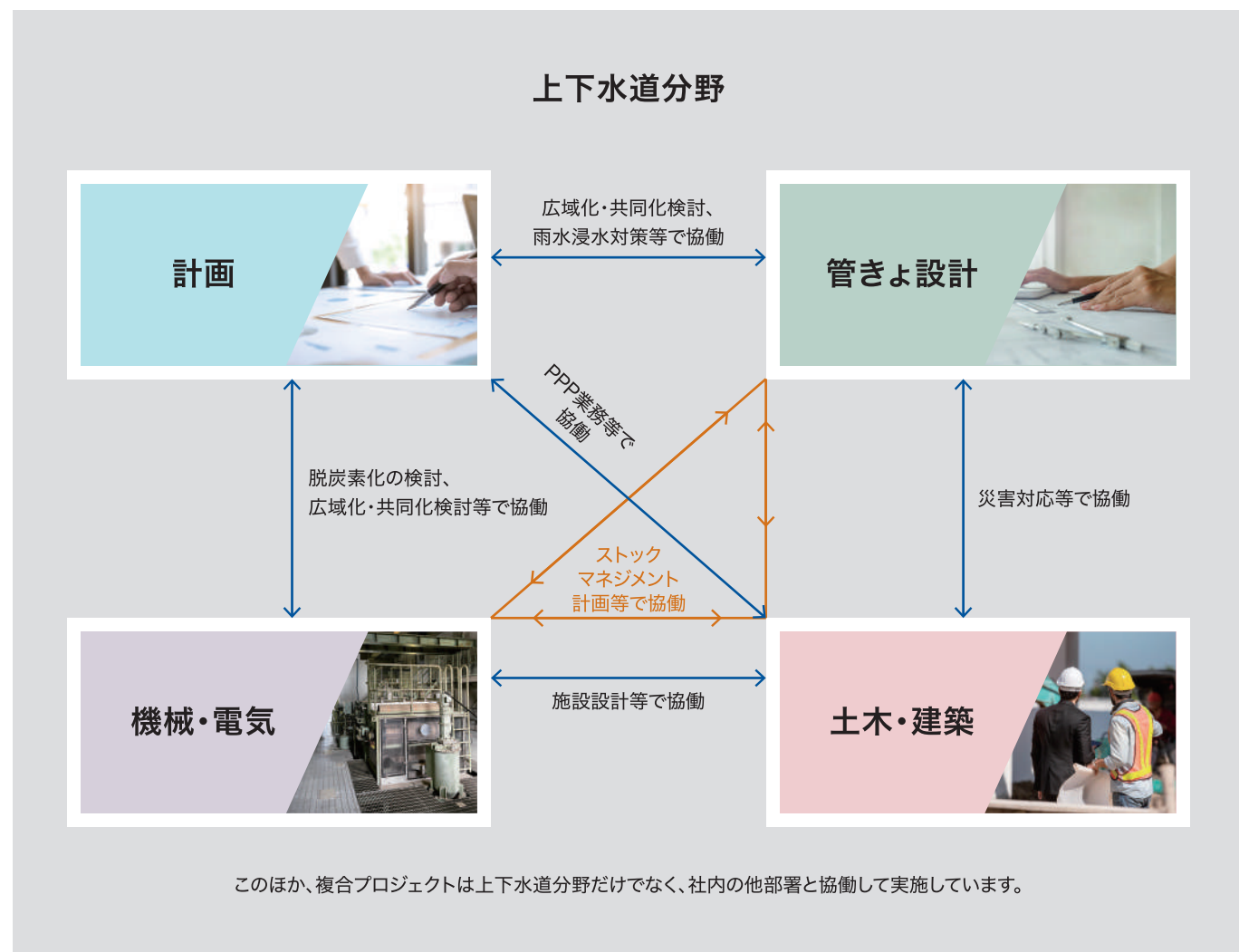
CONTENTS

- 01 上下水道分野とは
- 02 業務紹介
- 03 ホットピックス
- 04 社員の日常
- 05 キャリアプラン
- 06 支社紹介

01 上下水道分野とは

各分野のかかわり

上下水道分野は計画分野、管きょ設計分野、機械・電気分野、土木・建築分野を担当する技術者が所属しており、分野を横断して仕事をすることも多いです。



各分野の仕事

計画

主に自治体の下水道事業の計画策定支援や浸水想定業務を行っています。近年は不明水対策検討業務や、改築更新需要の増加等により下水道料金改定検討業務も多く実施しています。

キーワード 事業計画／浸水想定／下水道料金改定／内水ハザードマップ／広域化・共同化／不明水
流域別整備総合計画／経営戦略

管きょ設計

一般的な下水道管きょの設計や老朽化対策としての管きょの再構築をはじめ、広域化検討等に当たっての接続検討や、都市の再開発に伴う下水管の切り回し検討等を行っています。自然災害に対する復興支援や、道路陥没等の事故に対する復旧支援等も実施しています。

キーワード 老朽化対策／再構築／接続検討／切り回し／土質検討／下水道台帳システム／復旧支援
ストックマネジメント

機械・電気

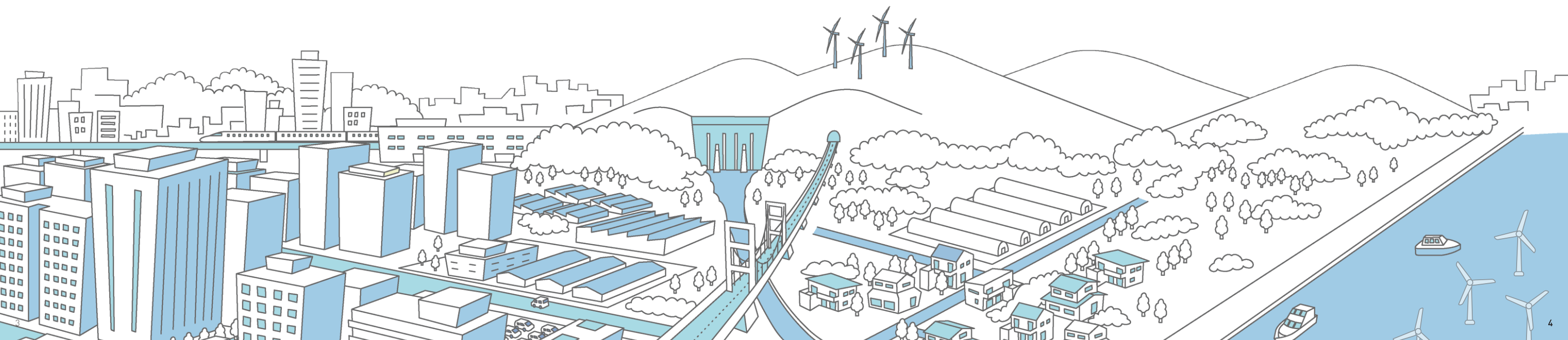
浄水場や下水処理場における設備・電気系統の検討を主に行っています。設備の健全度を診断し、点検・調査計画や修繕改築計画を策定するストックマネジメント計画策定業務や、脱炭素社会の実現に向けたエネルギー利活用施設の整備検討にも取り組んでいます。

キーワード 設備検討／改築更新／遠方監視制御／ストックマネジメント／脱炭素化検討／エネルギー利活用

土木・建築

浄水場や下水処理場の土木・建築設計を担当し、施設の耐震化診断・設計や、老朽化対策として施設の大規模再構築に関わる設計等を主に実施しています。施設の耐震化・耐水化設計では、BIM/CIM技術や3次元FEM解析等を活用しています。水の官民連携をはじめPPP関連業務も実施しています。

キーワード 大規模再構築／耐震化・耐水化／官民連携／老朽化対策／BIM/CIM



下水道計画策定支援業務

担当分野 計画

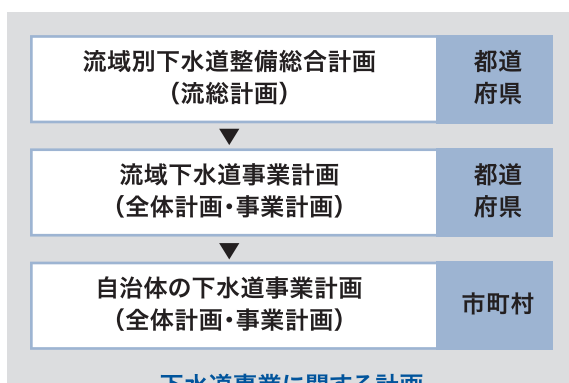
業務概要

下水道は右図のような計画に基づいて事業を実施しており、上下水道分野では**事業計画の策定支援**を行っています。

下水道事業は、下水道使用料を財源の一部としており、効率的な経営が求められています。事業計画とあわせて、**経営戦略の策定**や**下水道使用料改定などの支援業務**にも取り組んでいます。

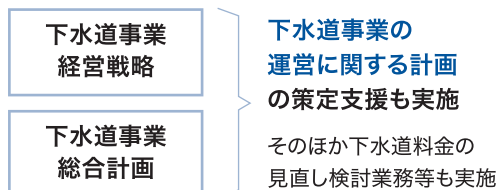
業務の流れ(事業計画)

- ① 計画フレームの設定(処理人口の推計等)
 - ② 汚水量原単位の設定、汚水量の算定
 - ③ 汚濁負荷量・処理場への流入水質の算定
 - ④ 施設計画(ポンプ場、処理場の容量計算)、管きよの流量計算
- 計画の策定にあたっては、**適宜発注者とやり取りを行い、まちの開発計画や下水道に関する実際の運用状況を計画**に反映します。



下水道事業に関する計画

上位計画である流総計画から、自治体の事業計画まで策定支援を実施※



※自治体の単独公共下水道事業計画の策定等も支援しています。

浸水想定業務

担当分野 計画

業務概要

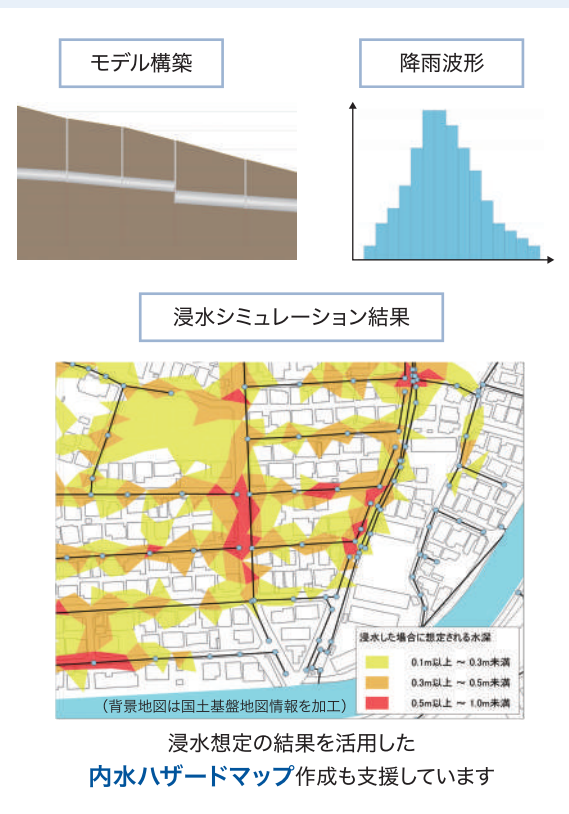
近年、集中豪雨の多発や都市化の進展に伴い、雨を排水しきれずに発生する「内水氾濫」の被害が増えています。上下水道分野では、**各自治体の浸水リスクを把握**し、住民への周知や大雨時の避難行動に活用するための浸水想定業務を行っています。

浸水想定業務では、流出解析ソフトによるモデル構築・**浸水シミュレーション**を行い、内水浸水想定区域図として取りまとめます。

業務の流れ

- ① データ収集
- ② 解析モデルの構築
- ③ キャリブレーション(モデル妥当性の検証)※
- ④ 浸水シミュレーション
- ⑤ 内水浸水想定区域図

※浸水想定業務では、構築したモデルや浸水想定の実地調査も実施しています。

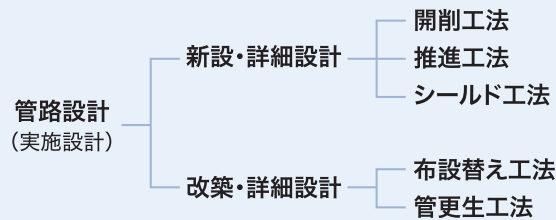


管路設計業務

担当分野 管きよ設計

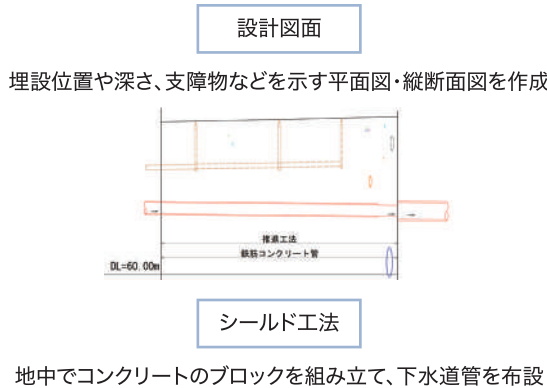
業務概要

主に下水道管路の設計を行っています。管路設計には複数の種類があり、発注者やメーカーと調整しながら、基本設計から実施設計へと段階的に検討を進めます。また、管路設計は以下のような種類に区分されます。



業務の流れ

- ① 調査(資料収集・現地踏査など)
- ② 人孔調査、地形・地盤高の測量
- ③ 設計方針の検討
- ④ 流量断面の計算
- ⑤ 工法の検討
- ⑥ 構造計算
- ⑦ 設計図面の作成
- ⑧ 数量計算



下水道台帳システム業務

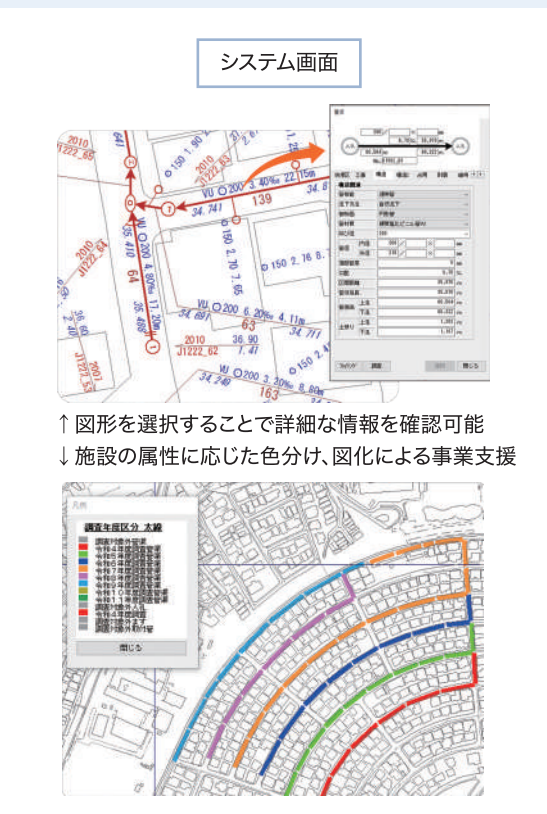
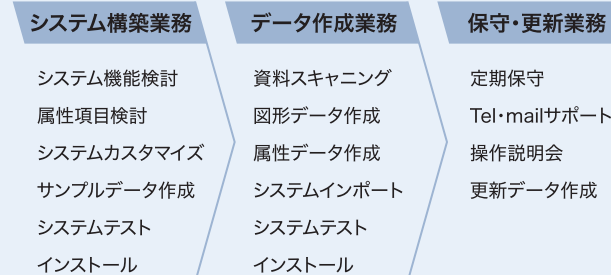
担当分野 管きよ設計

業務概要

管路情報をGISと結び付けて管理する下水道台帳システムに関する業務を行っています。

本業務では、システムの安定利用を目的とした操作説明や、要望に応じたカスタマイズ、バックアップなどの保守対応を行っています。さらに、工事資料や調査結果をもとに管路データの入力・更新を行い、現場に近い立場で下水道管理を支えています。

業務の流れ



施設設計業務（機械・電気）

担当分野 **機械・電気**

業務概要

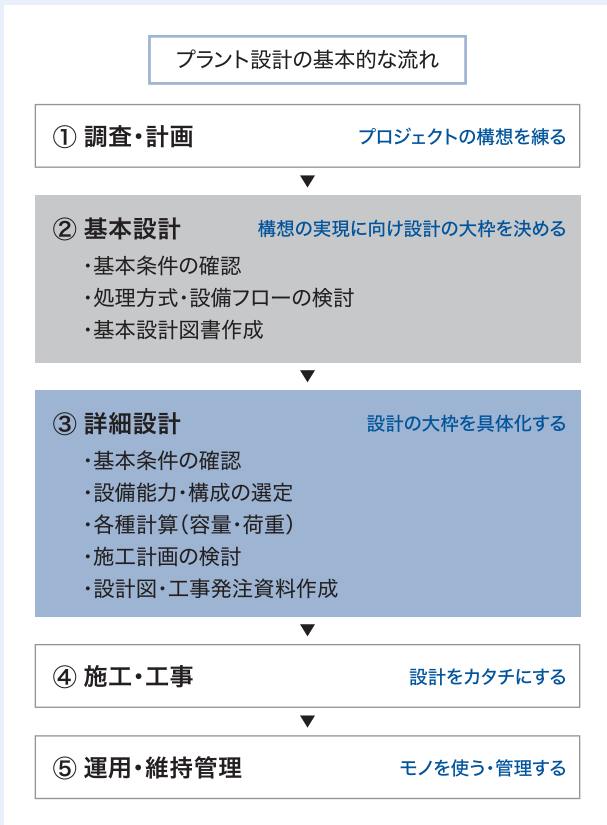
上下水道分野では、上下水道施設（浄水場・下水処理場・ポンプ場等）における機械・電気設備の新設・更新・改良に伴う施設設計を行っています。施設設計では、施設の処理方式や規模に応じた最適な設備構成を検討し、機械・電気設備の設計図面を作成します。

施設設計の区分

右図のとおり、機械・電気分野における施設設計は、施設設計は②基本設計と③詳細設計に大別されます。

②基本設計では、対象施設の処理方式の選定、設備の概略能力・構成などを検討し、**施設の運用方針や基本となる条件を整理**します。

③詳細設計では、基本設計方針を精査した上で、設備能力・構成の再検討・施工方法の立案を行っています。**既設状況や将来の運用計画を踏まえ、ライフサイクルコストを考慮した合理的な設計**を目指します。



耐震診断・設計業務

担当分野 **土木・建築**

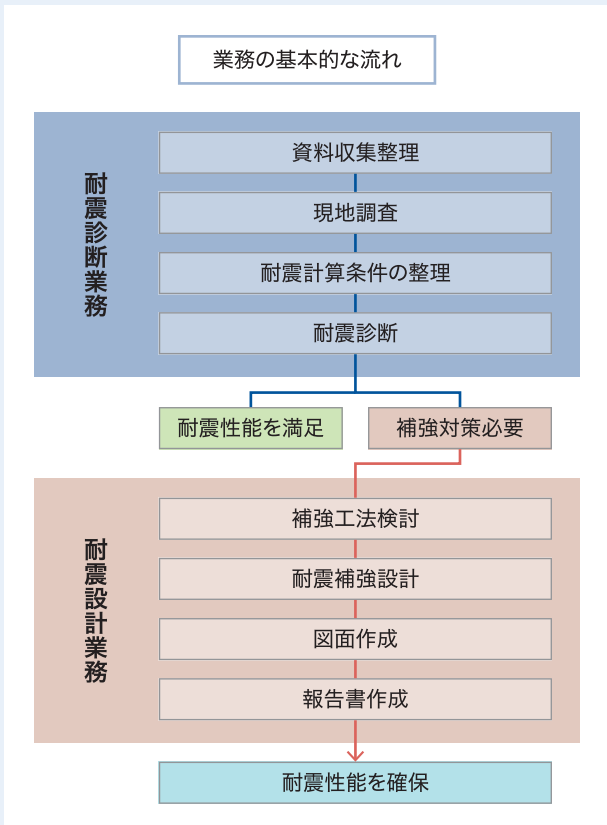
業務概要

上下水道分野では既設上下水道施設の耐震診断や耐震補強設計を行っています。

上下水道施設は、地震発生時においても給水機能や汚水処理機能の維持が求められるため、耐震化の推進が重要となっています。また、多くの施設では老朽化が進行しており、耐震性能の確保と計画的な更新・補強が必要となっています。

対象施設

上水道施設	取水施設→取水塔、取水ポンプ場 等 浄水施設→混和池、沈殿池、ろ過池 等 貯水施設→貯水池、調整池 等 上水道施設全般
下水道施設	汚水処理施設→最初沈殿池、反応タンク 等 污泥処理施設→污泥貯留槽、消化タンク 等 ポンプ場施設→ポンプ場、沈砂池、等 下水道施設全般



施設設計業務（土木・建築）

担当分野 **土木・建築**

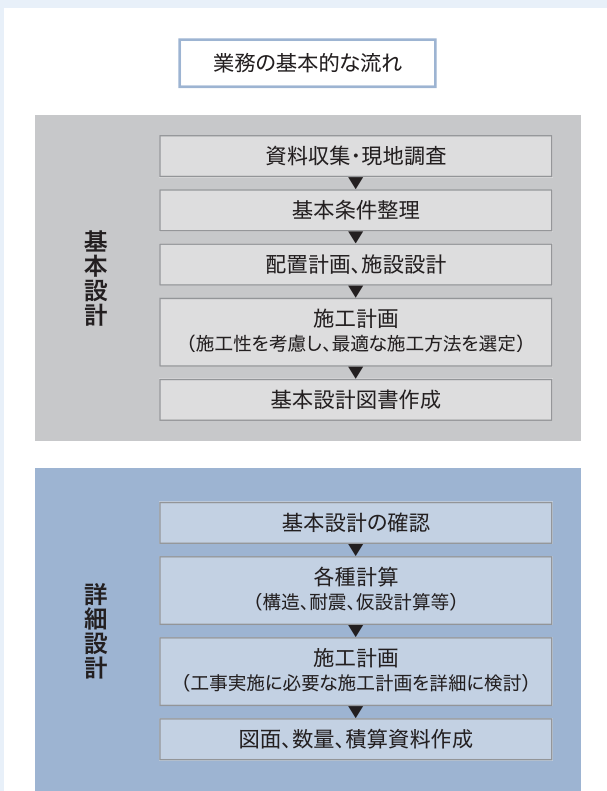
業務概要

上下水道分野では、上下水道施設（浄水場、下水処理場、ポンプ場等）における土木・建築施設の設計を行っています。

施設設計では、施設の更新・再構築等を目的として、維持管理性や施工性を踏まえた設計検討を行っています。また、将来計画や施設運用を考慮し、経済性やライフサイクルコストにも配慮した設計を行っています。

施設設計の区分

基本設計	施設配置や構造形式、施工方法を比較検討し、最適案を選定する。
詳細設計	基本設計で選定した条件について、構造計算や施工計画を具体化し、工事に必要な図面・数量を作成する。



ストックマネジメント業務

担当分野 **管ぎょ設計** **機械・電気** **土木・建築**

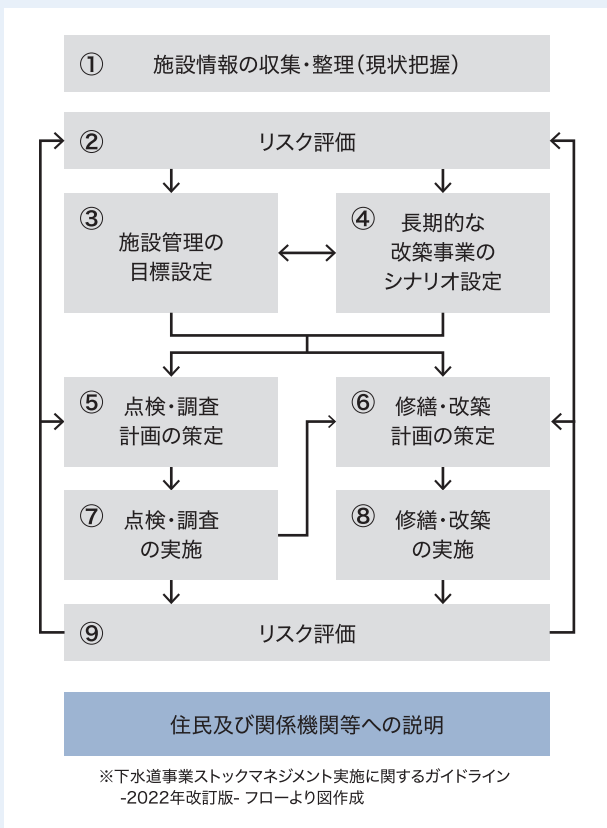
業務概要

ストックマネジメントとは、施設老朽化・人口減少・財政制約に対応するため、**下水道施設の現状を客観的に把握・評価し、下水道施設を長期的な視点で計画的かつ効率的に管理する手法**です。

上下水道分野では、下水道施設（管路、機械・電気設備、土木・建築施設等）を対象としたストックマネジメント計画の策定を支援しています。

業務の流れ

ストックマネジメント業務の流れを右図フローに示します。まず**対象資産の現状を把握**①②③し、長期シナリオを設定④します。長期シナリオより調査計画を策定⑤、**点検調査を実施**⑦し**健全度を評価**します。健全度に基づき、各資産の改築要否を判断し、修繕・改築が必要な資産はLCC評価を行い、**修繕・改築の方針を検討**⑥します。改築・修繕の方針を基に、**効率性・経済性に優れた事業計画を立案**します。



水の官民連携業務

担当分野 土木・建築 PPPマネジメント部

業務概要

下水道分野では、老朽化施設の増大、使用料収入減少、下水道職員の不足等の課題の解決策として、**官民連携(PPP/PFI)の活用**が進められています。特に、下水道管路・施設の維持管理と更新を民間事業者に一体で委託する方式が「**水の官民連携**」です。上下水道分野では、PPPマネジメント部と協業して、**官(自治体)側支援業務**を行っており、**導入可能性調査業務・発注支援業務**等に取り組んでいます。

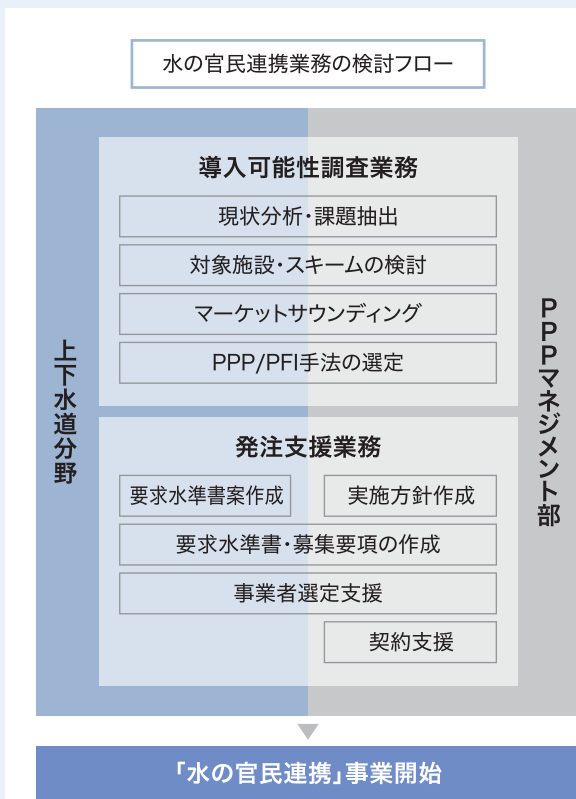
役割分担

上下水道分野

対象施設の選定など、主に下水道の技術に関連した内容

PPPマネジメント部

スキームの検討、契約支援など、主に官民連携スキームに関連した内容



地域間の協働業務 例①

大阪 × 九州

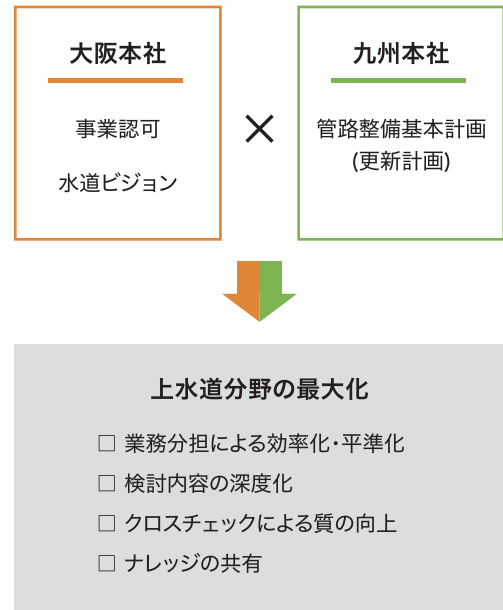
水道事業変更認可・水道ビジョン改定×管路整備基本計画の策定支援業務

業務概要

水道事業者は、国土交通大臣もしくは都道府県知事の許可のもと事業を実施しています。50年後、100年後も変わらないサービス水準で、持続可能な水道事業の運営を目指して各種計画を立案し、最適化を図っています。その中で、コンサルタントとしてより効果的な計画となるようアドバイスをしています。水道ビジョンや管路整備基本計画もその一部です。

地域間での協働

本業務は、計画業務3本の同時進行となり、通常よりも検討項目が多くなるため、地域間で協働して業務を遂行することとなりました。協働することによりリソースが共有でき、効率よく業務に対応ができます。さらに、**検討内容の深度化や複数視点からのチェック体制による質の向上、ナレッジの共有も可能となり、今後の戦略につなげることができます。**



脱炭素化検討業務

担当分野 計画 機械・電気 GX推進部

業務概要

脱炭素検討業務では、主に上下水道施設における**温室効果ガス排出量削減のための処理方式の検討**を行っています。技術検討においては、**メーカーヒアリングを行い設備の能力や工事・維持管理コスト等の比較**を行っています。また**省エネ機器の導入による温室効果ガス排出量の削減効果についても評価**し、検討施設に対して最適な機器の導入を提案します。

分野間の協働

上下水道分野では、検討のベースとなる検討対象施設の処理水量や処理汚泥量の設定を計画分野が担当し、設備の比較検討を機械・電気分野が担当しています。**業務によってはGX推進部との協働により、上下水道施設における水素ガスの製造やCCUSの導入可能性に関する検討等も行っています。**



地域間の協働業務 例②

中部 × 九州 × つくば実験場

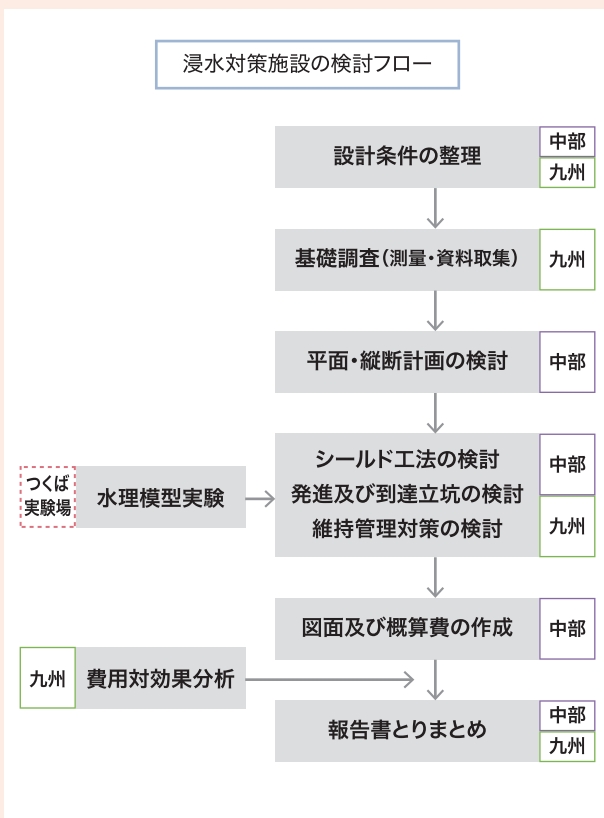
雨水排水計画(浸水対策施設設計)

業務概要

本業務の当該市では、市の中核を担う病院エリアで浸水被害が頻発しており、**浸水対策が急務**となっていました。既設水路の雨水排水能力が不足していたため、早期実現性の高い“**地下貯留管案**”を提案し、概略検討を経て、現在は基本設計を行っています。

業務の流れと役割

業務の流れは、右のフローのとおりであり、主な作業分担として、**中部にて貯留管の設計**を行い、**九州にて測量や費用対効果分析**を行っています。また、中部と九州の上下水道分野の技術者だけでなく、つくばの実験場とも協働し、**総合建設コンサルタントならではの分野横断的な価値創造を行っています。**



02 業務紹介

海外業務

担当分野 管きょ設計 計画 機械・電気

業務概要

上下水道分野では、国内のみならず海外業務にも取り組んでいます。例として、西アフリカのリベリア共和国の業務を紹介します。

リベリアは、長年の内戦等の影響によりインフラ整備が不十分であり、右図のように**道路冠水等により路面・交通状態が悪化**しています。これを改善するため、**雨水を河川や海まで排水するための雨水管やマンホールの設計**を行いました。

現地状況を把握することが重要なので、**海外に出張し、現地で調査等**を行うこともあります。

今後の展望

近年、海外の上下水施設の建設にあたってのデューデリジェンス業務等も実施しています。上下水道分野では若手社員を中心に国際業務の推進を図るワーキンググループも動いており、今後も積極的に国際業務に取り組んでいきます。

リベリアの現地写真



災害対応業務

担当分野 管きょ設計 計画 土木・建築

能登半島地震復興対応

令和6年1月に発生した**能登半島地震で被災した地域の復興対応業務**を継続して実施しています。能登地域では地盤が液状化したことによる被害が大きく、上下水道分野ではかほく市・内灘町において、地盤の液状化対策として**地下水位低下工法による下水道管きょ設計**を行っています。復興対応業務では被災地に出張し**現地調査を実施したり、地盤技術部と連携し現地で液状化対策の実証実験を行ったり、また地下水位低下工法による液状化対策の効果を検証**しています。

これらを設計に反映し、より効果的な対策となるよう検討を継続しています。

八潮市道路陥没事故の復旧対応

埼玉県八潮市で令和7年1月に大規模な道路陥没が発生し、**災害対応として下水道管きょや道路、その他インフラとして上水道等の復旧詳細設計**を昨年度より継続して実施しています。

大きな社会貢献

八潮市で発生した道路陥没が起因となり、国を挙げて全国特別重点調査が実施され、今後リダンダンシー(複線化)に関する案件が増加することが考えられます。

これら大規模下水道システムの大口径かつ平常時の管内水位が高い下水道管路における修繕・改築や災害・事故時の迅速な復旧は容易ではありません。だからこそ、**絶対に止められないインフラである下水道設計に関わることで自らがとてつもない社会貢献になりますし、誇りを持って仕事に取り組めます。**

03 ホットトピックス

八潮の道路陥没事故対応

2025年1月28日に八潮市道路陥没事故が発生しました。事故から約1週間後の2月5日、上下水道部に災害支援要請が入り、翌日には数名が現場に急行しました。

その後現在に至るまで、交通系部門との分野横断連携により、建設コンサルタントとしての使命感と、リーディングカンパニーとしての社会的責任を持って、復旧に向けてコンサルティング業務を継続しています。



ミラカタ会議を開催

2025年10月に全国上下水道分野の若手が集まり、大阪本社にて「未来を語る会議(通称ミラカタ会議)」を開催しました。

今回のミラカタ会議は、これまで実施してきた「働く意味を考える会議(通称ハタミ会議)」を踏まえ、さらに分野最適化をテーマに上下水道分野の未来を語る会議として開催されました。

また、今回はミラカタ会議の前に「京大変人講座 in パシフィックコンサルタンツ」も開催され、新たな視点で上下水道分野の未来を見つめ直すことができました。



パシフィックアワードを連続受賞

パシフィックコンサルタンツでは全社組織による活動や貢献を広く称え合い、より高みを目指した活動を展開・強化するため、「パシフィックアワード」という社内表彰イベントを毎期開催しています。

上下水道部は73期にアクションプランとその後の行動に対して国土基盤事業本部長賞を受賞しており、74期は八潮道路陥没事故の復旧支援について審査員特別賞を受賞することができました。



2025年入社



おかの り こ
岡野 莉子
勤務場所 東京オフィス
分野 管きょ設計

- 国土基盤事業本部 上下水道部 管渠設計室
- 筑波大学 理工情報生命学術院 システム情報工学研究群 構造エネルギー工学 学位プログラム 卒業

趣味

チーズケーキ巡り

社会人になってチーズケーキにハマり、休日はおいしいチーズケーキを探しにお出かけします。お気に入りに出会えた日は幸せな気持ちになり、「明日からまた仕事を頑張ろう」と思える、私にとって素敵なお褒めです！



1日のスケジュール

- 6:30 起床・準備**
毎朝、好きな音楽をかけながら準備をします。通勤は1時間程度、7時半に家を出ます。
- 8:45 出社**
勤務時間は9時からですが、早めに出社して1日の準備をします。時には、隣の席の方と昨日のテレビの話で盛り上がることも。
- 9:00 1日のスケジュール確認**
会議や作業内容の確認をします。東京オフィスの若手は電話番を担当するため、室員のスケジュールも確認！
- 9:30 会議資料の作成**
現在はストックマネジメント計画、下水道施設の耐震診断、雨水管の基本設計などの業務を担当しています。午後の会議で上司に確認したい内容を整理しておきます。
- 10:30 データ整理**
茨城県の耐震診断業務で管きょと土質のデータを整理します。対象エリアが15km以上とデータ量が多く大変ですが、先輩から基礎情報を正確に整理することが重要と教えていただきました。
- 12:00 昼食**
午後も頑張るためのリフレッシュタイム。今日は上下水道部、港湾部の同期と昼食です。帰り際、いつものコーヒーを買って会社に戻ります。
- 13:00 会議**
群馬県のストックマネジメント計画業務で管きょの劣化度を診断します。八潮の陥没事故から全国的に課題である管内劣化に直結する業務のため、担当者全員で調査画像を見て話し合います。
- 15:00 協議資料作成**
会議を踏まえて発注者との協議資料を作成します。診断結果に基づいた劣化状況の報告が次回協議のメインテーマであり、図表を用いてわかりやすい資料を目指します。
- 17:00 ちょこっと休憩タイム**
17時が定時のため、少し休憩。上下水道部は全国に出張に行くため、そのお土産をいただきます。
- 17:30 報告**
雨水管の基本設計業務で行ったメーカーヒアリング結果を上司に報告します。追加でヒアリングしたい事項を整理し、先輩社員と一緒にしっかりと検討を行います。
- 19:00 退社**
作業がひと段落し、明日のスケジュールを確認して退社。今日は久しぶりに大学時代の同期と神田で会って、旅行の計画を立てながら夕ご飯。明日も頑張るためのエネルギーをチャージして、帰路につきます。

2019年入社



むかい ゆう か
向井 友伽
勤務場所 大阪本社
分野 機械・電気

- 大阪国土基盤事業部 上下水道設計室
- 鹿児島工業高等専門学校 建設工学専攻 卒業

趣味

バスケットボール観戦

息子が大のバスケ好きで、週末の楽しみは家族で国内プロリーグの試合観戦。気づけば私も大好きになり、自宅ではNBAも欠かさずチェック。毎日朝から寝るまで自主練に励む息子のおかげで我が家はバスケ一色。夢はNBA生観戦！



1日のスケジュール

- 6:00 起床・準備**
1日は、手作りスムージーからスタート。通勤時間は約1時間、保育園への送迎があるため、7時半前には出発します。
- 9:00 出社・1日のスケジュール確認**
タスクを確認し、作業内容の整理・優先順位付けを行います。ここでの段取りが、1日の生産性向上に直結します。
- 9:30 データ整理**
担当している下水処理場の詳細設計や設備の耐震診断、ストックマネジメント計画に関するデータ整理および各種計算を行います。設計条件に関わる重要な作業のため、正確性と丁寧さを意識しています。
- 11:00 社内会議**
他工種と連携する業務が多いため、後戻り作業を防ぐことを目的に、進捗状況や課題事項をチーム内で共有します。経験豊富な先輩からの鋭い意見は、技術者として成長するための貴重な学びの機会です。
- 12:00 昼食**
普段は社内で食事をとりますが、この日はマグロ専門店へ。室員とのコミュニケーションを通じて、仕事以外の新たな一面を知る機会にもなっています。
- 13:00 協議資料作成**
データ整理と並行して、発注者との協議に向けた資料の作成を行います。初めて見る方にも理解しやすい構成・表現を意識し、「伝える設計」を目指しています。
- 15:00 勉強会**
技術士試験の合格を目指し、全国の上下水道分野の技術者とともに勉強会に参加しています。主に東京オフィス開催のため、WEBで参加しています。
- 16:30 報告**
業務の進捗状況や課題について、発注者および社内関係者へ報告します。特に課題事項は、早期共有と対応方針の整理を意識しています。
- 17:00 退社**
明日のタスクを整理して退社。保育園へのお迎えがあるため、基本的には定時退社です。
- 18:30 帰宅**
帰宅後は家事や育児に体力勝負(笑)少しでも自分の時間が確保できるよう模索の日々です。

社員アンケート

入社前後のギャップは？

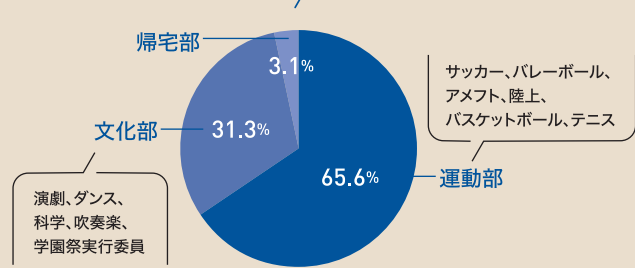
部署ごとに雰囲気も仕事の進め方も
結構いろいろ
デスクワークだけではなく、
現場のこともきちんと把握！
発注者や協力会社、メーカーなど
多くの人と関わる仕事！
年度末はとにかく忙しい…！

職場はどんな雰囲気？

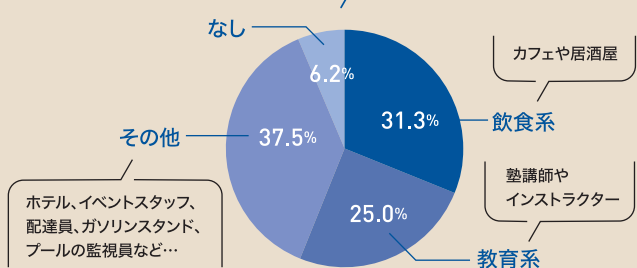
ひとり作業の時は集中して黙々と…
世代問わずコミュニケーションがざかん
分野や地域ごとに雰囲気の違いがある
集中できる時間とコミュニケーションの機会のバランスがちょうど良い！

社員アンケート

学生時代の部活動は？



学生時代のアルバイトは？



2018年入社



あまの みつる
天野 充
勤務場所 東京オフィス
分野 土木・建築

- 国土基盤事業本部 上下水道部 水循環設計室
- 東京大学大学院 工学系研究科 都市工学専攻 修了

趣味

子どもと過ごすこと

息子と遊ぶのが趣味みたいなものです。毎日成長を感じて楽しいです。乗り物が好きな子なので、一緒に電車やバスに乗って、私も行ったことのない駅に行き公園などで遊ぶことも。私は食べることが好きなので、美味しそうな店がたまたま見つかったと嬉しくなります。



1日のスケジュール

- 7:00 起床・準備**
子どものご飯を用意しつつ、準備。7:50に家を出ます。通勤中に昼ご飯を買っていくことが多いです。
- 9:20 出社**
勤務時間は9時半からですが、エレベータが混む時間を避けたいのと、電車が遅延してもいいように少し早めに到着するようにしています。スケジュール、メールやTeams、前日のメモを見て、1日の動きを再確認。
- 9:30 作業依頼**
協力企業の方、アルバイトさん、同僚に対応、確認を依頼。テレワークの方はTeams通話も駆使します。
- 10:30 資料作成**
耐震診断のための土質調査提案資料を作成します。
今回は液状化の判定のための調査なので、古い図面でギリギリ読み取れる周辺土質柱状図を見ながら、必要な調査項目を資料に整理。上司や調査会社さんに見て頂き、OKが出れば発注者さんへ提案します。
- 11:30 協力企業の方とのやり取り**
先程送ったメールの件(耐震診断の条件や作業工程)で、協力企業の方と電話などで話を進めます。
手戻りにならないよう、検討条件を整理することが大切。細かい点でも疑問に感じたら質問、相談します。
- 12:00 昼食**
社内で食べるのが好きなので、Youtubeで好きな動画を見ながら自席で食べるが多いです。
食べながら、組合^{*}の資料を準備することも。昼食後は、昼寝して頭をスッキリさせます。
- 13:00 会議**
PPP事業の発注支援業務に関する社内会議。要求水準書(案)の確定に向けて、
発注者から来た質疑や要望への回答方針を議論。この先の進め方を社内で意思統一できてひと安心。
- 15:00 協議資料作成**
会議を踏まえて優先順位を付けて資料修正を進めつつ、発注者との協議資料を作成します。
なるべくわかりやすく説明できるように、確認事項は目立たせたり表現を工夫します。
- 17:30 定時**
部で契約してくれているコーヒーマシン(嬉しい)のコーヒで一息。今日は組合^{*}会議があるので残業です。
- 17:40 見積対応、事務作業**
新規業務受注に向けた見積対応や、交通費などの経費精算を進めました。明日やることの整理も。
- 18:30 退勤・組合会議**
今期は労働組合の中央執行委員会に所属しており、会社との交渉事項を会議しています。
組合員にとって働きやすい環境を目指して真剣に議論しているので、白熱すると長引くことも。
他の部門の人と同じ方向を向いて頑張るのは部活みたいで楽しいです。
- 20:30 帰宅**
後片付けて帰宅。ギリギリ寝る前の子どもに会えるかどうか…! 会えると嬉しいです。

※組合とはバシフィックコンサルタンツ労働組合のこと。
労働環境や福利厚生、評価・報酬の改善を図るため、経営側と交渉をする団体です。

2018年入社



みやもと まさき
宮本 真輝
勤務場所 東京オフィス
分野 計画

- 国土基盤事業本部 上下水道部 水ソリューション共創室
- 神戸市立工業高等専門学校 都市工学科 卒業

趣味

野球

会社と近所の野球チームで、毎週土曜日は懲りずに白球を追いかけています。試合後にみんなで語り合いながら飲む一杯が、毎週の楽しみです！
会社の野球部では大会優勝を目標に活動しています。野球好きな方、ぜひ一緒に汗を流しましょう！



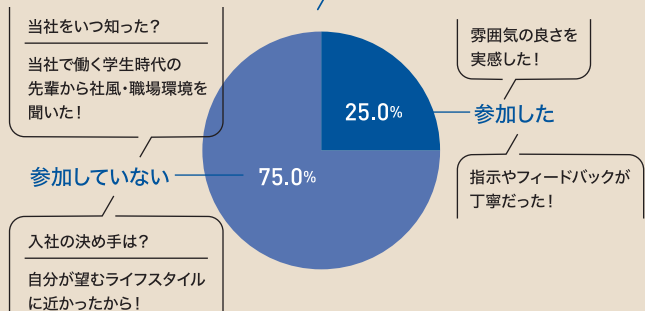
1日のスケジュール

- 8:00 起床・準備**
本日は打合せと現地調査のため富山県に昨晚移動してきました。
宿泊先のホテルで朝食後、出発までの時間を使ってアルバイトさんへの作業指示と打合せ資料の最終確認を済ませます。
- 9:00 移動**
レンタカーを借りて打合せ先の庁舎へ移動。
地方では現地調査もあるので、小回りの利くレンタカーが重宝します。
- 10:00 発注者打合せ**
発注者と打合せ。市の将来の下水道計画を策定するプロジェクトで、
老朽化が進むA地区の小規模な下水処理場を別の下水処理場へ統合するために整備する
接続ルートについて複数案を説明し、採用案を決定しました。
各案の費用や施工性等のメリット・デメリットをわかりやすく整理した資料と、
要点を押さえた説明を心がけた結果、スムーズに進みました。
- 12:00 昼食**
近くの道の駅で海鮮丼をいただきます。
地方出張ならではのご当地グルメも楽しみのひとつです。
- 13:00 現地調査**
午後はB地区の処理場統合ルートを現地確認します。
事前に机上で検討したルートを歩いてみると、用水路を横断することが判明。
ポンプの新設が必要とわかり、持ち帰って計画に反映します。
- 15:00 移動**
現地調査を終え、レンタカーを返却して富山事務所へ向かいます。
- 16:00 社内打合せ**
富山事務所にて、WEB会議で別案件の浸水対策業務について社内打合せ。
次回の打合せで提案する調整池やバイパス管など、複数の浸水対策施設案について、
施設諸元やシミュレーション結果を確認し、資料の構成や追加の検討事項について
管理技術者としてのアドバイスを伝えました。
WEB会議を活用して全国の仲間と連携しながらプロジェクトを遂行しています。
- 17:00 退社・お土産購入**
業務終了。駅で部署のみんなへのお土産を選びます。
- 17:30 夕ご飯**
新幹線の時間まで、駅ナカの居酒屋で軽く一杯。今日も1日お疲れ様でした！
- 19:00 帰宅**
新幹線で帰路につきます。車内では話題のドラマを見ながら、ゆっくり過ごしました。

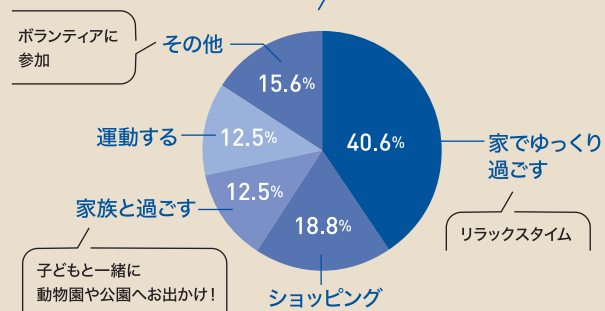


社員アンケート

当社のインターンに参加した？

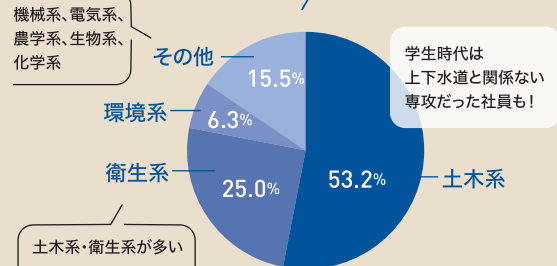


休日の過ごし方は？

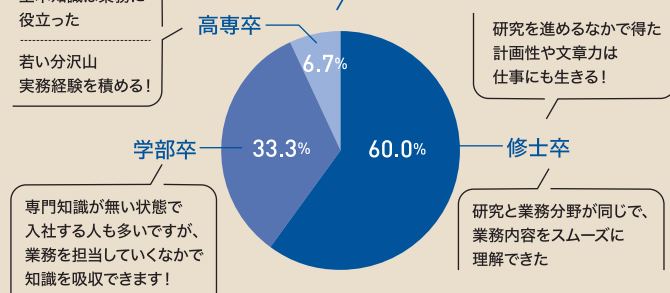


社員アンケート

学生時代の専攻は？



最終学歴は？



2012年入社



つじの　　そういちろう

辻野 壮一郎

勤務場所　東京オフィス

分　野　　管きょ設計

■ 国土基盤事業本部 上下水道部
管渠設計室

■ 関西大学 環境都市工学部
都市システム工学科 卒業

趣　味

旅行など

最近は家族旅行がメインですが、一人旅に行ったりもします。(海外旅行に行ったり、他にも特急に乗るのが好きで最近は思いつきで草津温泉に行きました。)他にも釣りや映画、ゲームに漫画、地元大阪の秋祭りにも継続参加しています。



1日のスケジュール

6:00 ● 起床・準備

子どもを起こしてご飯、おむつを替えてお着替え。保育園の用意をして先生に預けます。
ご飯を食べるのが遅かったり、テレビを見てると着替えてくれないので、間に合わないよーと言いながらなんとか出発。



8:50 ● 外出先近くのカフェに到着

早めに打合せ場所近くのカフェに到着。
当日の打合せで説明することや確認したいことを頭で整理。
その他、1日の作業確認や、お客様からの問い合わせ対応。

9:30 ● 打合せ

開発事業者の事務所で打合せ。
定例会議のためこれまでの進捗報告と、今後の協定書等に関する文言について関係者間で意見交換。
誤解を生む可能性がある表現がないか等討論し、
下水道管理者協議資料に関する修正方針を確認しました。

11:30 ● 早めの昼食

打合せが終わり、会社の近くで早めの昼食。
12時台では人が多くて行けないスープカレー店で濃厚黒カレーを注文。

13:00 ● 社内作業

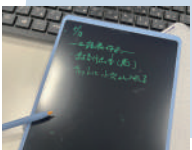
帰社後、翌日に使用する新規業務の業務計画書の作成や、別業務の工程表の作成。
2週間先頃までは打合せ等の予定が埋まっているため、
それぞれの行く日に併せてバランスよく作業を進めます。

15:00 ● 講習

国土地理院の標高改定に関する社内講習をWeb会議で受講。
標高は業務でよく使うけどなぜ改定するのか、どういう風に作られたかといった内容を
細かく説明いただき、設計や計画での注意点等を学習しました。

17:00 ● 社内作業

講習が終わり、明日までに進めておきたい作業が残っているため作業を継続。
作業をしていると、「あ、これはここまでにしておかないと」と
違う内容のことも頭に浮かんだりするので、
忘れないようメモしながら作業を進めます。



これまでは裏紙にメモやToDoを書いていましたが、よく失くしたりするので、メモパッドを買ってみました。

20:00 ● 退社

予定していた作業を完了させて退社。
社内作業で思いついた内容等は電車のなかでいつしようといったことを考えながら帰ったりします。

21:00 ● パーソナルジム、帰宅

予約していたパーソナルジムで食事管理のフィードバックと運動。
終わって帰ると家族は寝ているので、
寝室で寝顔を確認してから妻の用意してくれたご飯を食べて1日を終えます。

2014年入社



まつざき　　やすあき

松崎 康彰

勤務場所　東京オフィス

分　野　　機械・電気

■ 国土基盤事業本部 上下水道部
水ソリューション共創室

■ 近畿大学 産業理工学部
生物環境科学科 卒業

趣　味

インコさんのお世話

6年ほど前からセキセイインコを飼っています。当時小学生だった娘が、ある日突然「鳥かってきたよ～」と言って我が家に連れてきてから今に至ります。時々の確なタイミングで「ちゃんとして!」などと言葉を発することがあります。



1日のスケジュール

7:00 ● 起床・準備

7時頃に起きて、中学3年の娘を見送った後、8時前に家を出ます。

9:30 ● 出社

通勤中に1日のスケジュール・タスクを整理しつつ9:30頃に出社します。

10:00 ● 来客対応

今日は下水処理場の汚泥脱水機メーカーの営業担当者をお迎えし、
製品の特長や現場への適用事例について説明を受けました。
プラント設備の設計では、現場の条件に合う最適な機種を提案するために、
このように情報収集しています。

11:00 ● 移動

午後から千葉の汚泥濃縮機更新についての設計案件で打合せがあるため移動します。

12:00 ● 昼食・昼休み

千葉に到着。同僚と昼食をとります。
今日はみんなで蕎麦をいただきました。

13:00 ● 打合せ

千葉のお客様と老朽化した汚泥濃縮機の更新について打合せ。
現状の課題や今後の方針について協議しました。

15:00 ● 現地確認

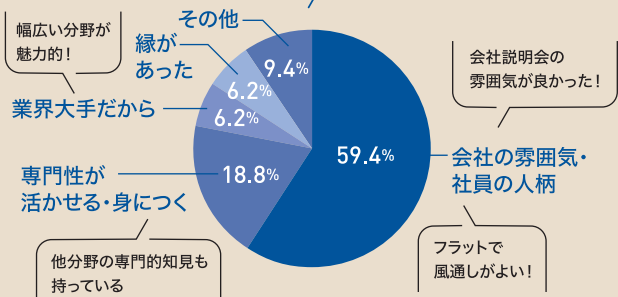
お客様と協議が終了し、その後現場に移動して、現地の状況を調査しました。
設計対象の汚泥濃縮機がどのような配置状況で、周辺に何が設置されているかを把握します。
その後の設計図作成や、工事の際の施工計画の検討に役立てます。

17:30 ● 退勤

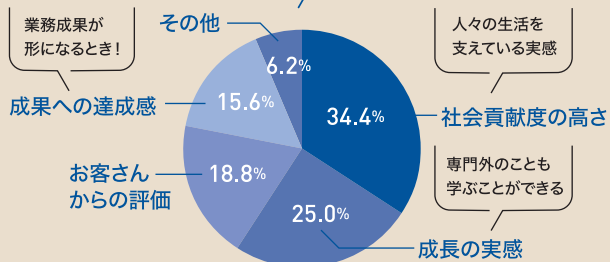
現地調査では、設備が配置されている電気室が狭く、
更新工事に向けた課題も整理でき、今後の設計に向けた重要な情報を得ることができました。
現地調査が無事に終わったので、今日は千葉から直帰します。

社員アンケート

当社を選んだ理由は？

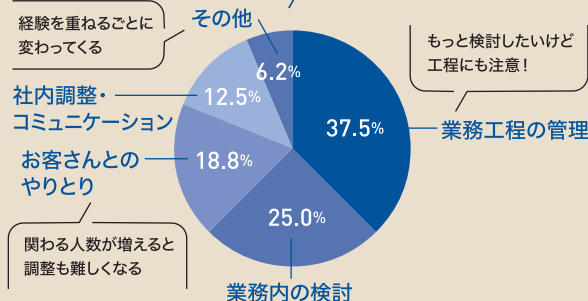


やりがいを感じるときは？

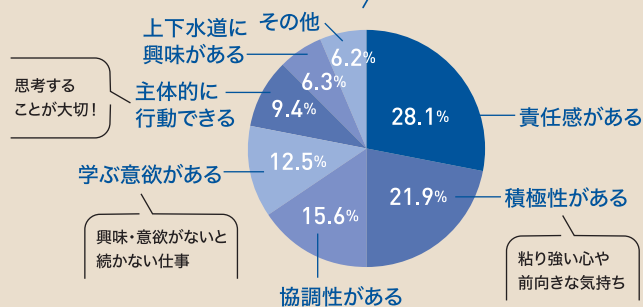


社員アンケート

一番苦労したことは？



こんな人と一緒に働きたい！



上下水道分野では充実した人材育成制度と福利厚生制度のもと、公私ともに多様なキャリアを描くことができます。一人ひとりが描くキャリアはさまざまですが、大きく右の3つに分けられます。
ここでは、キャリア形成のイメージを具体的に持っていただけるよう、上下水道分野の社員へのアンケート結果等を踏まえて作成した2人のモデルケースを紹介します。

CASE1



技術分野の専門家から組織を的確に統率するマネージャーへ

上下水道計画分野の専門家 組織を統率するマネージャー	テクニカル	+	マネジメント	東京オフィス／学部卒・専攻：資源・環境系
-------------------------------	-------	---	--------	----------------------

1
年目

- 新入社員研修では同期の新入社員と約3週間の研修を受け、社会人としてのマナーや会社のルール、技術者としての基礎を学ぶ
- 4月末に東京オフィスに配属され、コーチの指導の下、下水道計画に関する業務に従事し基礎的な技術力を習得
- 協議では、議事録の作成などを担当しながら、協議の進め方や全体の流れを実務を通じて習得
- 入社1年目10月頃から業務の内容にも慣れ、自分でお客さんとやり取りし、協議にて一部説明をするようになる

2
年目

- コーチのフォローを受けながら、定型業務を主担当として発注者との各種協議・連絡調整を主体的に実施
- 技術士補を取得



技術士補は入社前に取得する人もいますが、入社後に取得する人も多いです。

3
年目

- 3年目研修でロジカルシンキングについて学ぶ
- はじめての後輩に業務の基本的な内容を教えつつ、主担当として工程調整や発注者との各種協議・連絡調整を主体的に実施



入社から満2年の社員を対象に、業務スキルの高度化と将来のキャリア形成を支援するための研修を行っています。

4
年目

- リフレッシュ休暇取得

5
年目

- これまでの業務経験を活かして営業段階から案件に参画し、受注後は主担当として業務に従事
- 新入社員のコーチとして若手育成を経験
- 技術士試験の受験資格を満たし部内の技術士勉強会に参加、初めての技術士二次試験に挑戦



結婚や出産などの慶事に際し取得できる特別休暇で、ライフイベントを安心して迎えられる制度です。

10
年目

- 結婚し、慶事休暇を利用して1週間海外へハネムーン
- 技術士(下水道)を取得し、定型業務の管理技術者を経験
- さらに専門性の幅を広げるため、他拠点での業務経験を希望し大阪本社へ異動2年間にわたり水道事業を含むさまざまな業務に従事

15
年目

- 子どもが生まれ、育休を半年取得
- 子どもが幼稚園に入るまでの間はフレックス制度を活用し、育児と仕事の両立を実現



始業・終業時刻を柔軟に選択でき、業務や生活に合わせた多様な働き方を実現できる勤務制度です。

20
年目～

- 水道業務の知識を習得し、さらに技術士(水道)を新たに取得
- 水道業務の経験も活かし、上水・下水の横断業務の管理技術者として従事
- 室長として組織マネジメントに携わり、部門運営や人材育成を担う立場へとキャリアを発展

テクニカル

複数分野で活躍する高度な技術者等、技術を深度化させるエンジニア

プロジェクト

大規模プロジェクトを牽引する統括マネージャー

マネジメント

組織を的確に統率するマネージャー

CASE2



技術分野の専門家からプロジェクトを牽引するマネージャーへ

上下水道設計分野の専門家 プロジェクトを牽引するリーダー	テクニカル	+	プロジェクト	大阪本社／大学：土木、衛生系・JABEE取得コース卒業
---------------------------------	-------	---	--------	-----------------------------

1
年目

- 4月末に支社配属され、CAD等使用ツールの基礎的な操作方法や技術指針のレポート等を通して基本を習得
- コーチの指導の下、設計業務の検討の一部や現場調査立会等を担当
- 業務の協議に参加し、議事録の作成などを担当しながら、協議の進め方や全体の流れを実務を通じて習得



若手社員がキャリアを描き、実現できるよう支援するため、新卒入社後2年間、「コーチ」がつきます。日常的に気軽に相談できる存在になります。

2
年目

- さまざまな設計業務に触れ、技術の幅を広げる
- 各種社外講習会等に参加し、基礎知識を習得しながら、酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者等の専門資格を取得

3
年目

- より主体的に専門分野の仕事を担当し、積算・工事発注対応含め管路設計全般に携わる
- 民間再開発等、大規模プロジェクトで社内他分野との共同業務に取り組む
- 3年目研修への参加



現場調査を伴う設計業務などで使用する資格や、業務を担当するうえで必要な資格の取得について、各種社外研修を通じて取得を支援しています。

4
年目

- リフレッシュ休暇取得
- 設計業務の中で特に得意とする管路設計業務について主担当で業務を実施



リフレッシュ休暇は3年目・5年目・10年目等に有給を活用して連続で休暇を取得することができる制度です。リフレッシュ休暇を活用し、海外旅行等に行く人が多いです。

5
年目

- 受注活動後は主担当として業務に従事
- 新入社員のコーチとして若手育成を経験
- 技術士取得に向けた勉強会等への参加

8
年目

- 結婚、慶事休暇
- 管路設計に関わる資格の取得
- 公的研究機関に出向し、管路の老朽化に関する研究を2年間実施

10
年目

- 技術士(下水道)を取得し、定型業務の管理技術者を経験
- さらに専門性の幅を広げるため、建設分野の知識習得を目的に東京オフィスへ異動し、2年間の実務経験を積む
- 専門分野の研究論文の提出、社会人博士取得を目指す

15
年目

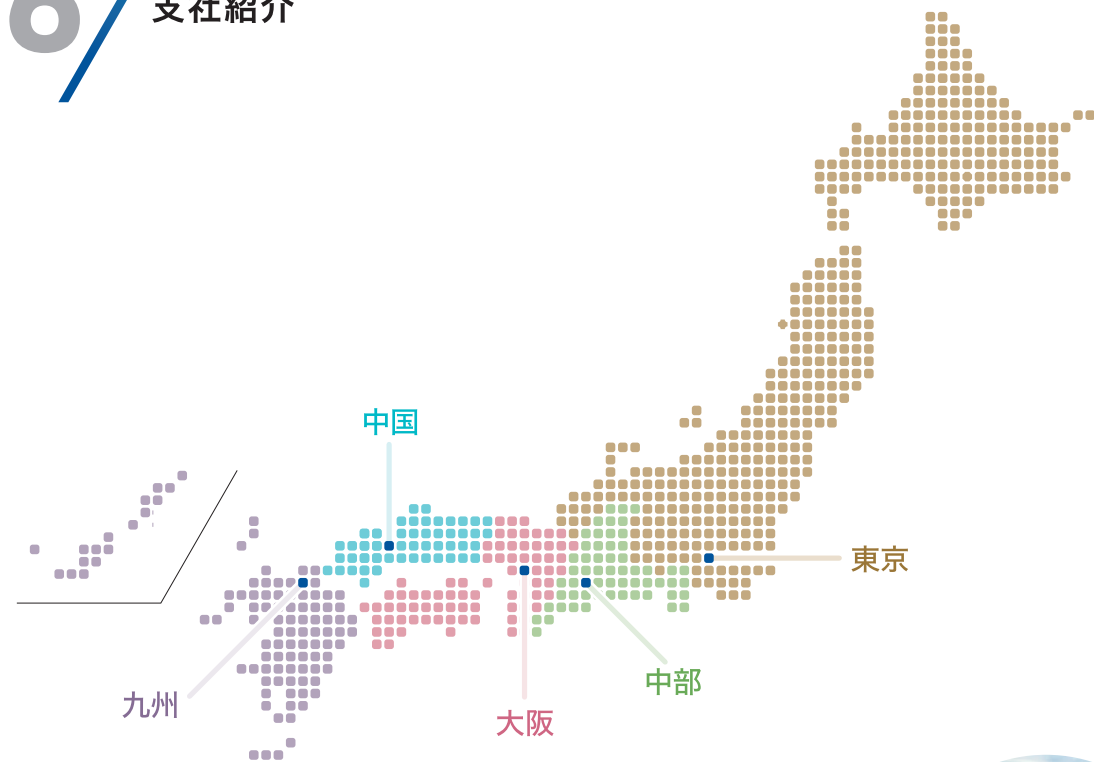
- 業務経験を積み、技術士(総合技術監理)を新たに取得
- 複数分野に関わる大規模プロジェクトにおいて分野を代表、牽引し業務を担当

20
年目～

- 複数の専門分野を代表できる技術力を培い、海外を含めたさまざまなフィールドで活躍する
- 専門分野の関連学会の委員や講師を担当



上下水道部では独自に毎年勉強会を開いており、多くの技術士合格者を輩出しています。技術士のほか、測量士、RCCM、土木施工管理技士、下水道管路管理主任技士 等を取得される方もいます。



東京

神保町駅から徒歩2分。アクセス抜群で素敵なオフィスです。周辺にはおいしいお店がたくさんあり、昼食の時間は毎日の楽しみのひとつです。業務エリアは主に「東日本」を担当しています。3室体制の50人規模で30代以下のメンバーが20人在籍、若手が活躍中！フリーアドレス制で若手からベテランまで自然と会話が生まれる環境です。物腰の柔らかい人が多いため、相談しやすい雰囲気の中で安心して仕事に取り組めます。



中部

名古屋駅直結！ほぼ雨に濡れずに通勤可能なアクセス抜群のオフィスです。昼休みは名古屋駅のレストランで昼食、退勤後は駅ビルでショッピングも出来ます！中部上下水道室は10名体制で、30代以下の若手4名も活躍中。対象の全く異なるさまざまな種類の業務に関わることが出来ることも支社の魅力です。中部支社では、支社を挙げて「BBQ」や「運動会」などのイベントも盛んに開催！他分野の人とも関わる機会が非常に多く、皆さんフレンドリーで居心地の良い職場です。



大阪

大阪駅から徒歩10分、飲食店や美術館が立ち並ぶ北新地にオフィスがあります。社員は約30名。計画・設計の2室に分かれ、ベテランから新入社員まで、年齢性別の垣根なく仕事に取り組んでいます。時に楽しく、時に厳しくメリハリのある環境が魅力です。同フロアには他部門も在籍しており、分野を超えた交流、協業も活発です。例年、ボウリング大会やBBQ、ファミリーデーなどのイベントが行われ、社員だけでなくそのご家族も一緒になって楽しんでいます！



中国

広島駅から路面電車で約10分、老舗デパートが立ち並ぶ広島市中心地に位置するオフィスです。平和記念公園や広島城が徒歩圏内にあり、オフィスからは山も望むことができますので、緑を見ていつでもリフレッシュが可能！扱う対象は同じ水！ということで、中国支社では河川と上下水道分野が合体した組織となっています。お花見、ボウリング、BBQ等、仕事とメリハリをつけて、楽しむときは全力で楽しむことができる、穏やかで柔らかい雰囲気の職場です。



九州

博多駅直結の新築オフィスへ、2026年8月に移転しました。1フロアにどの部署も集約されており、他部署との交流も盛んです。業務エリアは主に「九州沖縄」を担当しています。九州各地に美味しいものが沢山あるので、打ち合わせで外出した際の昼食の時間は楽しみの1つになっています。1室10人規模で、各世代（20代～60代）が在籍しています。和気あいあいとした雰囲気です。九州本社をあげてのイベントが豊富で、舞鶴公園での「お花見」や「ドームリレーマラソン」など例年開催されています。

